



# 待ちきれない 未来と出会おう。

NTT西日本はソーシャルICTパイオニアへ。

NTT西日本は、社会を取り巻く環境変化がもたらす様々な課題に対し、ICT(情報通信技術)の力で解決していく「ソーシャルICTパイオニア」をめざします。皆さまと共に、未来へ向かって、新しい価値・ソリューションを創造します。

× ICT

働き方改革・競争力の向上 × ICT

少子化・教育改革 × ICT

自然災害対策 × ICT

新しいライフスタイルの創造 × ICT

観光まちづくり × ICT

農林水産業の活性化 × ICT

くわしくは

NTT西日本 課題解決

検索

<https://www.ntt-west.co.jp/ict/>

NTT西日本 佐賀支店

W19-1592-1

誰とでも繋がる 便利で身近なネット社会  
みなさんの情報は安全に守られていますか？



## 安心と信頼の データセンター 佐賀 IDC

繋げる安心 あずける信頼 佐賀 IDC

日々進化し続ける情報化社会では10秒に1人サイバー攻撃にあっているとされています。当社は情報セキュリティのプロとして、安心かつ安全な環境を提供します！

### 株式会社 佐賀 IDC

佐賀県佐賀市駅前中央1丁目6番25号  
佐賀東京海上日動ビルディング  
TEL : 0952-37-1213 FAX : 0952-37-1217





## ● 募集要項

ネット社会に生きる子どもたちを対象に、望ましい情報化社会の創造に積極的に参画しようとする態度の育成を目的として「パソコンやスマホ、ゲーム機などのインターネットの安全な使い方」を啓発するポスター、動画および啓発動画の感想文を募集します。

【募集期間】令和元年10月1日(火)～令和2年1月10日(金)

## 対象・部門・応募規定

### ポスター 部門

【募集対象：佐賀県内の小・中・高校の児童生徒】

- 1)小学生の部                    2)中学生の部  
3)高校生の部                    4)おとなと子どもで共同制作の部※

※ご家庭で、お子様と一緒にネットの望ましい使い方を話し合いながら、ポスターと一緒に作成していただけるよう、おとなと子どもで共同制作の部を設置しています。

応募者名は、子どもの名前をお願いします。(学年又は年齢)

八つ切り画用紙又はB4判(257mm×364mm)からA3判(297mm×420mm)とし、縦横は自由。コピー・デザインなどの表現方法は自由ですが、平面作品に限ります。漫画やアニメのキャラクター、シンボルマーク等を使用した作品、当コンクールテーマにそぐわない作品については審査の対象外とします。なお、応募作品は返却いたしかねます。

### 動画 部門

【佐賀県内の小学生・中学生・高校生】

個人またはグループで応募可

◆映像の長さ…約 90秒 以内

※多少の秒差は構いません

◆ファイル規定…WMV・MP4・MOV・AVI等のファイル※他の形式の場合はご相談ください。

◆映像の種別…実写またはアニメーションでも可

◆ファイルサイズ…1枚の記憶媒体(DVDなど)に収められる範囲内

◆コンクール公式LINEでの応募も可。受賞した際には原本の提出をお願いしますので、必ず原本を保存しておいてください。

### 啓発動画感想文 部門

【佐賀県内の小学生以下】

実行委員会が課題として提示した啓発動画の感想文を400字以内にまとめて所定の原稿用紙で応募してください。

※啓発動画の視聴、および応募用紙は下記のWebページをご覧ください。

「ITサポートさが」ホームページ

<https://www.it-saga.jp/>

## 応募方法

【郵送の場合】

応募用紙に必要事項を記入の上、ポスターの場合は作品裏面に貼付して、動画の場合は記憶媒体のケースに貼付して、下記宛てに郵送してください。

〒840-0804 佐賀市神野東二丁目1-25 NPO法人ITサポートさが  
ネットの安全・安心けいはつコンクール事務局 宛

【持込みの場合】

応募用紙に必要事項を記入の上、ポスターの場合は作品裏面に貼付して、動画の場合は記憶媒体のケースに貼付して、下記までご持参ください。(佐賀駅北口徒歩2分)

〒840-0804 佐賀市神野東二丁目1-25 NPO法人ITサポートさが TEL 0952-36-5900

※応募用紙は「ITサポートさが」Webページよりダウンロードしてください。

URL <https://www.it-saga.jp/> 【ITサポートさが】で検索

佐賀県知事賞



佐賀県立鹿島高等学校  
1年 一ノ瀬 堅介

● キャッチ

投稿前に立ち止まろう

● 受賞者コメント

近年、SNSでの情報発信が、個人情報の特定や炎上といった様々な被害に繋がる事例が増えており、SNSの使い方が問題視されています。そこで、ネット上において写真や文章を投稿する前に一度立ち止まり、個人を特定できるような内容が含まれていないか、見た人を傷つけたり、周りの人に迷惑をかけてしまっていないかなどを考え直してほしいという思いから「立ち止まる」ことをテーマとした作品を描きました。

● 審査員コメント

SNSなどネット上の発言を巡って、炎上することがあります。

ネット上に限らず公的な場所での発言には、責任が伴います。また、発言に対して批判を受ける覚悟も必要です。投稿前に考えることが、自分の身を守ることにつながるのです。

冷静さを欠いた発言や一時のノリや勢いに任せた不用意な発言が、大変危険であることは周知の事実ですが、なかなかなくなるのも事実です。このポスターは、そんな不用意な発言に「待った」をかける力があるように感じます。この点が多くの審査員からの高い評価を得て知事賞を獲得しました。

佐賀県警察本部長賞

鳥栖市立鳥栖西中学校 2年 石塚 夕意



【受賞者コメント】  
インターネットでは本当の姿などがわからないので、本当にその人の姿がわかっているのかというコンセプトでかきました。

【審査員コメント】  
SNSによるコミュニケーションは、手軽で楽しい反面、“危険”も潜んでいます。知らない人がSNSで優しく寄り添ってくれたとしてもそれは罠かもしれません。この作品は、「本当にだれかわかっている？」というメッセージと背後から忍び寄る影により、SNSの危険性がリアルに表現されています。

佐賀県教育委員会教育長賞

岩屋保育園年中 高橋 健太



【受賞者コメント】  
おとなのひとは、スマホばかりしないで、こどもとあそんでください。

【審査員コメント】  
「おとなと子どもで共同制作の部」に応募された作品です。子どもは大人をよく見ている。この作品から、スマホよりもぼく(わたし)のことをよく見てほしいという思いが伝わってきます。教育上の問題として、親がスマホを持ったときの子どもの向き合い方を考える契機になってほしいと思います。

佐賀大学教育学部賞

佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校 2年 荒谷 さよ乃



【受賞者コメント】  
最近はSNSや動画投稿サイトなど、自分で何かをつくってそれをいろんな人に見せることが簡単な時代です。インターネットで検索すればいくらでも画像が出てきて、いくらでもダウンロードできます。すべてが誰かの著作物であるという感覚が薄れてきて、気軽に転載してしまったり、自分のサイトに使ってしまったりして自分の意識していない内に誰かの著作権を侵害しているかもしれません。

【審査員コメント】  
学校教育では、すべての学校種の学習指導要領でICT教育の普及とともに情報モラル教育の指導を充実させることが明記されています。その中でも著作権は、児童・生徒の文書や絵画などの様々な表現にも関わる重要な事項であることから啓発活動が重要であると考え、この作品を選びました。

佐賀県PTA連合会会長賞

佐賀市立春日北小学校 1年 上村 龍平



【受賞者コメント】  
スマホばかり見てたらなにもかんがえられなくてスマホにたよっちゃうからためだとおもってかきました。

【審査員コメント】  
子育て中の保護者の多くがスマホ等を所有し、子どもが幼少期からスマホ等に触れることが当たり前になってきています。そうした環境の中で、子どもがだらだらと長時間スマホを使うことに警鐘を鳴らす作品になっているようです。子どもには、スマホばかりやテレビばかりにならず、いろいろな体験をしてほしいと思います。



佐賀県高度情報化推進協議会賞  
基山町立基山中学校 2年 副島 葉月

【受賞者コメント】

今の時代、いろいろなことでネットを利用するようになり、知らず知らずのうちに自分や周りの人の情報をバラまいているかもしれない、という怖さからこの絵をかきました。「自分は大丈夫。」「そんなことないだろう。」という無意識の感情が、とんでもないことにつながったりします。この絵を見て、情報を守ることの大切さを感じてもらえたらうれしいです。

【審査員コメント】

この作品からは、スマホを通じて個人情報を大量にばらまいている様子がわかります。近年、SNSが普及し、誰もが手軽に情報を発信することができるようになりました。児童・生徒のみなさんには情報を発信する前に、本当に発信して問題ないかどうか、チェックすることを心掛けてほしいと思います。



佐賀県商工会議所連合会会長賞  
武雄市立北方小学校 3年 梅田 梨名

【受賞者コメント】

ネットを使うときに気をつけることをカギにして、ドアにカギをかけて自分で自分を守りましょうという感じでかきました。

【審査員コメント】

インターネットを使う上で、特に気をつけなければならない項目を4つのカギに見立て、そのカギのルールを守ることで、自分が守られることが分かりやすく表現された作品です。「ネットのカギかけてる?」とにっこり笑う女の子が印象的でした。自衛を忘れずに、ルールを守ってネットを上手に活用していきましょう。



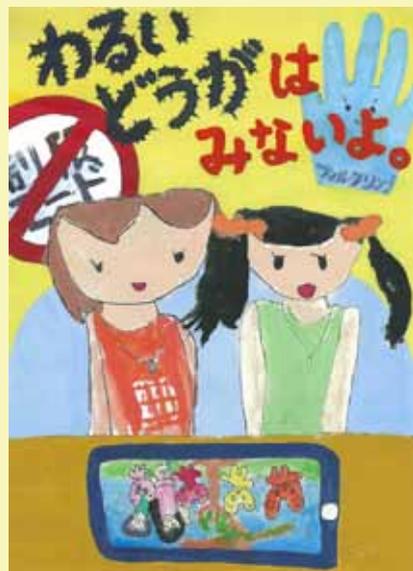
佐賀県商工会連合会会長賞  
佐賀市立城東中学校 1年 藤島 実衣菜

【受賞者コメント】

ここ最近、インターネットは、私たちの生活にかかせないものとなっています。ネットで友達とやりとりしたり、調べものをしたり、ゲームをしたりと、ネットには様々な使い道があります。だからこそ、ネットを使っていて、トラブルにならないように、このポスターには、フィルタリング、時間、内容の確認、個人情報のことについて描きました。ネットを使うときの注意を理解してもらおうと嬉しいです。

【審査員コメント】

顔の見えないコミュニケーションに関するメッセージ、鮮やかな色遣い、目を惹くポスターだと思います。インターネットを使うときに気を付けてほしいことをわかりやすく表現してくれました。可愛い作品です。



佐賀県中小企業団体中央会会長賞  
志久慈音こども園年中 梅田 紗名

【受賞者コメント】

子どもにネットで動画を見せる時は、制限モードやフィルタリングで、不適切な動画から子どもを守ること、親も見守りが大切だと思います。

【審査員コメント】

「おとなと子どもで共同制作の部」に応募された作品です。いつも利用している動画サイトでも、子供たちが閲覧するのにふさわしくないコンテンツが表示される危険性が常にあります。そういった有害な動画から子どもたちを守ろうというメッセージが、かわいらしい表現とともにわかりやすく伝わってくる作品です。



佐賀県ケーブルテレビ協議会賞

佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校 3年

吉田 沙耶香

【受賞者コメント】

ネットは本来楽しく、笑顔が増える為のツールだと考えました。なので、その気持ちを前面に出す事で、使い方次第で明るい世界が広がると知ってもらいたいです。ネットの使い方、自分の笑顔を増やすのも自分の笑顔を殺すのも沢山あります。それを理解した上で、他人にも笑顔を分け合える世の中になってほしいと思います。

【審査員コメント】

スマホ・タブレットやインターネットを正しく使えば笑顔が増えるということ、温かい絵で伝えてくれました。ICTツールは、現代社会においてなくてはならない存在ですが、このポスターを見た方に「日々の生活を充実したものとするためには、使い方が大事」ということを感じさせてくれる素晴らしいポスターです。



LINE賞

佐賀県立致遠館中学校 1年 松本 伊織

【受賞者コメント】

今年の大河ドラマ「麒麟がくる」では、明智光秀が織田信長を本能寺でうちますが、当時はどのように連絡をしていたのかを想像しました。現在では、そのような連絡をSNSなどですると思うので、大事な情報はしっかり管理することが大切だと思います。

【審査員コメント】

通話アプリやメールなどで送信相手を間違える「誤送信」は、人間関係を崩壊させるきっかけともなりえます。送信相手をしっかり確認することが大切です。このポスターは、そんな誤送信の怖さをユーモアを交えながら伝える素晴らしい作品でした。また、2020年NHK大河ドラマの主人公が「明智光秀」ということもありタイムリーな作品ともなっています。



佐賀県放課後児童クラブ連絡会賞

嬉野市立嬉野小学校 2年 小久保 颯真

【受賞者コメント】

あるきスマホは危ないと思うのでかきました。

【審査員コメント】

子どもがスマホを見ながら歩いている絵が印象的でした。今は、子どももスマホを持つ時代です。画面ばかり見ていると足元の石ころに気付かないから危険だよ、歩きスマホは危ないよ、というメッセージが伝わってきます。子どもだけでなく大人も注意しましょう。



佐賀新聞社賞

佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校 2年 平井 奏音

【受賞者コメント】

最近、制服を着たまま写真を撮ってSNSにあげる人を多く見かけます。しかし、それは簡単に個人情報ばれてしまい、大変危険なことだと思います。なので、写真をSNSにあげるときは情報をのせすぎでないか確認し、よく考えようということを伝えたくてこの作品を描きました。

【審査員コメント】

みんながやっているSNSだからと何でもかんでも投稿してしまうと、取り返しのつかないことになるかもしれません。SNSアプリを利用する時は、個人情報が漏れないように気を付けなければいけないことを、しっかりと表現している作品だと思います。文字の一部がカメラになっているのも印象的でした。



サガテレビ賞

佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校 3年

古賀 楓

【受賞者コメント】

自分自身、日々の生活でネットはかけがえのないものとなっています。分からない事は検索すればすぐ理解できるし、料理のレシピも沢山載っているし、遠くにいる人たちと交流だって簡単になり、便利な世の中になった今、危険な事もちろんあります。しかし、ネットというものを充分知った上で正しく利用すれば、日々の生活がよりよいものになるのではないかと私は思います。

【審査員コメント】

日常において、今やインターネットは切り離せない存在です。「使い方を間違えると…」と恐れるより、生活をより良くする便利なツールの一つとして活用していきましょう。ただし、自分の生活ベースを乱さないよう「よく考えて、冷静に」という忠告が、3枚の優しい絵柄を通して伝わってくるメッセージ性の高い作品です。



ITサポートさが賞

佐賀県立鳥栖商業高等学校 3年

山内 紗和子

【受賞者コメント】

私はインターネットの悪い所と良い所をしっかりと理解し、自分自身に合った活用方法を学んでほしいと思う気持ちを込めてこのポスターを描きました。今の世の中、インターネットとの関係は密接であり、また誤った使用方法による被害がとて多いと感じます。小学生からでもインターネットについて少しずつ勉強をし年齢に合ったよりよいインターネットの使用方法やマナーを知ってほしいと思います。

【審査員コメント】

中高生の日常の一コマを切り取ったようなイラストが目を引きました。インターネットの利用者が低年齢化しており、成長に応じて段階的に必要なスキルを身に付けていくことはとても大事なことです。子どもだけでなく大人もその責務があることを改めて認識させられました。この二人のようにネットを楽しく利用できるようになって欲しいですね。

ITサポートさが賞

唐津市立大良小学校 1年

橋本 真緒



【受賞者コメント】

ネットの世界は楽しいこともいっぱいけど怖いこともいっぱいあるとききました。子どもだけだと危ないことも分からないので、スマホを使うときはお母さん達と一緒に使ったほうが楽しめると思います。

【審査員コメント】

ママと一緒にスマホを見ている顔が笑顔にあふれ、カラフルな文字や背景からも楽しさが伝わってきます。ママが側にいる安心感で楽しさも倍増しているのでしょう。低年齢のお子様は意味も分からずボタンを押してしまい、不適切なサイトに繋がったり、登録や課金のトラブルになったり、アプリが消えてデータがなくなる場合もあります。スマホやタブレットはおとなと一緒に使しましょう。





佐賀市長賞

佐賀県立佐賀西高等学校 1年 正林 杏

【受賞者コメント】

自分の部屋に横になる女子高生のなげない日常と、SNSの怖さを表したたくさんハートや、「消せない」という文字と消しゴムで、「一度発信した情報は、なかなか消せない」ということを伝えようと思いました。SNSでの軽はずみな投稿で、一生消えないあととなるということが多くあるので、よく考えてからSNSを利用することを心がけてほしいと思いました。



唐津市長賞

唐津市立湊小学校 3年 谷口 紗良

【受賞者コメント】

どうとくでネットで悪口を書いていたので、みんな悪口を言ったり書いたりしたら心に消えないきずを負ってしまうからネットでの悪口はダメという意味でかいています。

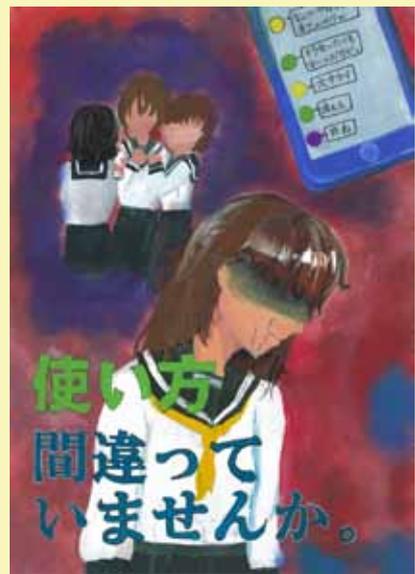


鳥栖市長賞

鳥栖市立田代中学校 2年 牟田 侑季乃

【受賞者コメント】

運動会などで撮影した写真にうつつた人に許可をとらずにネットにあげることが減ればいいなあと思って描きました。



多久市長賞

多久市立東原彦舎中央校 7年 宮原 萌

【受賞者コメント】

最近、スマホを持つ人が増えて、小学生でもスマホを持っている子がいたりします。ニュース等で、インターネットでのいじめや犯罪の話聞くことが多くなった気がして、「インターネットをいじめや犯罪のために使うのをあたりまえにしないでほしい。」と思って描きました。SNSなどの話で盛り上がっている人を見ると、少し不安になります。間違った使い方をしてる人は多いのだと思います。

## 佐賀新聞LIVE

# ニュースアプリ登場!

アプリは無料です。一度読み込めばオフラインでもご利用頂けますが、最新データの更新時には通信環境が必要です。

- 無料会員の方もニュースをご覧になれますが、地域ニュースの全文を読むには「佐賀新聞電子版」の会員登録が必要です。
- 1日2回更新のおくやみ情報、紙面ビューア、最長2年間分の過去の記事を検索できる「記事DB」サービスは、**会員限定コンテンツ**です。

**佐賀新聞電子版** 本紙購読とセットの「ダブルプラン」、電子版のみの「シングルプラン」ともに、本紙と同額の月額**3,350円(税込)**です。

問 佐賀新聞社 メディア局コンテンツ部 ☎ 0952-28-2162 (平日9:30~17:30)

佐賀の「いま」をチェックしよう!

¥0

ダウンロードはこちら

ダウンロードはこちら



伊万里市長賞

伊万里市立国見中学校 2年 荒木 音羽

【受賞者コメント】

夜おそくまでネットを使い、授業中に寝ると、将来の自分と、クラスみんなの迷惑になります。このようなことがなくなればいいと思いかきました。これから自分にも、周りにも迷惑にならないように、ネットの使い方を考えてほしいです。



武雄市長賞

武雄市立武雄中学校 2年 久保 楓

【受賞者コメント】

インターネットは、みんなが楽しく、便利になれるものなので、明るく空で、広く使えるという意味でこのように描きました。これからも、たくさんの人がネットを正しく使ってほしいと思います。



鹿島市長賞

佐賀県立鹿島高等学校 2年 溝口 有希

【受賞者コメント】

この作品は、ネットを安全・安心に使うために何が危険となり得るかを、シンプルな感じで頭に残るように、そしてネットが恐ろしいだけのものではないと感じられるように明るいイメージが持てるイラストにしました。このポスターを見た人が自分を危険から守り、楽しくネットを使用してほしいと思います。



小城市市長賞

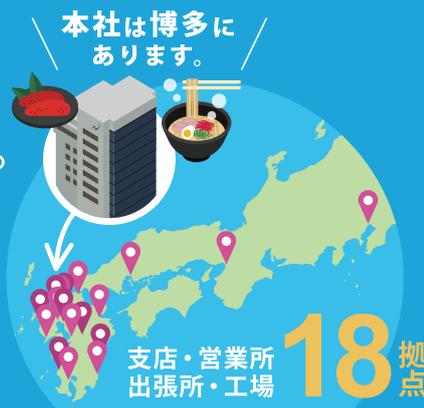
小城市立晴田小学校 3年 松木 幸多郎

【受賞者コメント】

ぼくは、このポスターを見た人が「だまされているのではないかな?」と1回考えてもらえるようにかきました。そして子どもだけで決めずに親やまわりの大人にOKをもらうなど、かならず安全をかくにんしてから使ってほしいです。

こんにちは、  
ニシム電子工業です。

私たちニシム電子工業株式会社は、創業当初より培った通信・監視・制御・電源技術を核として、多様化するお客さまのニーズにマッチしたシステムの企画・コンサルティングから、設計、製造、施工、運用、保守までのワンストップサービスをご提供いたします。



ニシム電子工業株式会社

佐賀支店

佐賀市神野東2丁目2-26

Tel.0952-33-0246

ニシム

検索



嬉野市長賞

嬉野市立嬉野小学校 3年 入江 みちる

【受賞者コメント】

いつまでも見つづけていたら、朝、ねぼうをしたり、目が悪くなったりすると思います。他にもさまざまな理由があります。みなさんも時間を決めたりしてくふうしてください。



神埼市長賞

神埼市立千代田中学校 1年 井上 日心

【受賞者コメント】

投稿をしたあのことまで考えていちど投稿の内容や、投稿する画像をみなおしてほしいという思いで描きました。投稿する前に考えなおす人がすこしでも増えたらいいと思います。



吉野ケ里町長賞

吉野ケ里町立三田川中学校 1年 森 葉凜

【受賞者コメント】

ネットトラブルの被害が、鎖のようにつながっていくのをイメージして描きました。この鎖に巻きこまれないよう、気を付けてネットを利用してくれたらうれしいです。



基山町長賞

基山町立基山中学校 1年 野口 朱里

【受賞者コメント】

私は、この作品にネットだけの情報を信じてしまわないように、という思いをこめました。ネットの情報のすべてがウソではないですが、気を付けてほしいなと思います。



株式会社 **学映システム**  
Gakuei System <https://www.gakuei.co.jp>

●●業務内容●●

教育設備機器販売 / 学校教材備品販売  
ICT環境整備 / ICT支援業務  
パソコン教育システム構築

◆◆佐賀本店◆◆

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 902 番地  
TEL : 0952(34)5280 / FAX : 0952(34)5285  
武雄支店・唐津営業所・久留米営業所  
福岡営業所・沖縄出張所



玄海町長賞

佐賀県立唐津青翔高等学校 3年 中村 水都

【受賞者コメント】

この作品で伝えたいことは、スマホを使いすぎると自分の体調に悪影響を与えるということです。児童に向けた作品で、特に小学生などの子どもたちは睡眠が大切なので、規則正しい生活を送ってほしいという思いも込めて描きました。



有田町長賞

有田町立有田中部小学校 4年 川原 姫花

【受賞者コメント】

インターネットを使う時は、あやしいサイトやネットさぎにあわないように、お父さん、お母さんといっしょに見てほしいと思ったので、この絵をかきました。

小学生部門賞

有田町立有田中部小学校 4年 岩永 悠花



【受賞者コメント】

家族のみんながスマホを見て、食べる食事は、おいしいでしょうか。家族との会話がふえるようにと願いをこめてかきました。食事をするときは、ネットを見ないで楽しい時間をすごしたいものです。

中学生部門賞

嬉野市立嬉野中学校 1年 野中 優良



【受賞者コメント】

私が、この絵に込めた想いは、今の時代はネット社会です。とても便利で、誰でもコミュニケーションを取ることができ楽しいことが多いですが、その反面自分の個人情報、流出したり、背後にはなりすましをされている可能性があるということを表しました。

## 佐賀県ケーブルテレビ協議会

有田ケーブル・ネットワーク株式会社  
伊万里ケーブルテレビジョン株式会社  
株式会社 唐津ケーブルテレビジョン  
唐津市  
株式会社 ケーブルワン  
西海テレビ株式会社  
佐賀シティビジョン株式会社

株式会社 多久ケーブルメディア  
株式会社 テレビ九州  
株式会社 ネット鹿島  
株式会社 ネットフォー  
藤津ケーブルビジョン株式会社  
株式会社 CRCCメディア  
九州通信ネットワーク株式会社  
佐賀市



高校生部門賞  
佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校 2年  
磯野 真希

【受賞者コメント】

ネットは、その人の使い次第で、楽しくもなり、逆に危険になることもあります。だからこそルールをしっかり守ってネットを使ってほしい、という思いを込めて、この絵を描きました。



おとなと子どもで共同制作部門賞  
川上こども園年少 上村 翠

【受賞者コメント】

ひとりでどうがをみるより、かぞくみんなでみるほうがたのしいです。



小学生部門 入選  
唐津市立大良小学校 6年  
松本 理紗



小学生部門 入選  
唐津市立鬼塚小学校 5年  
川崎 怜奈



小学生部門 入選  
唐津市立湊小学校 3年  
八並 光宙

**SiB** 有限会社 佐賀情報ビジネス  
Saga Information Business  
パソコンのことならお任せください!!



- ☆職業訓練 ☆IT 研修 ☆人材育成 ☆資格試験等
- ☆ネットワーク環境の構築・工事・機器メンテナンス
- ☆障害福祉事業所



就労継続支援 B 型事業所 でんでんむし

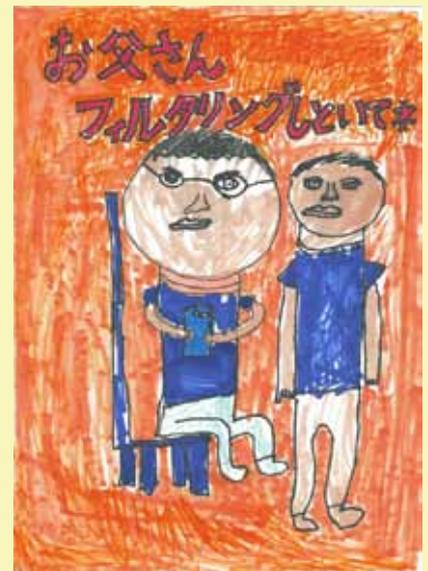




小学生部門 入選  
小城市立晴田小学校 3年  
嶋本 圭恋



小学生部門 入選  
小城市立小中一貫校芦刈観瀾校 2年  
釘本 美沙紀



小学生部門 入選  
有田町立有田中部小学校 2年  
下村 宗嗣



小学生部門 入選  
有田町立有田中部小学校 4年 福田 祥大



中学生部門 入選  
佐賀市立城東中学校 2年 田中 いろは

情報と人、人と人をつなぐ、  
コミュニケーションをデザインする会社です。

ウェブサービス企画、開発、ウェブプロモーションの運用サポート、地域情報化支援など、ICTで地域を元気にする活動を展開しています。



Local Media Labs  
ローカルメディアラボ  
<https://lm-labs.com>

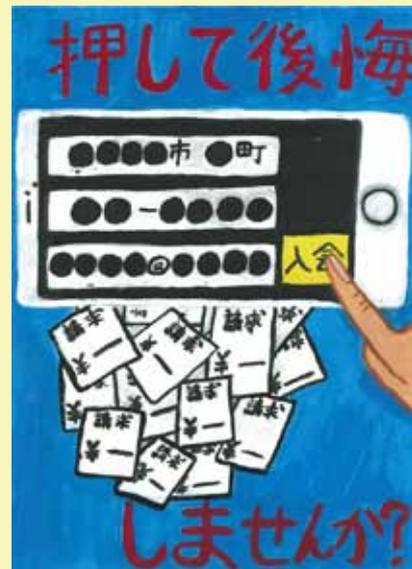
〒840-0804 佐賀市神野東 2丁目 1-25-2F  
TEL / 0952-97-9605 email / info@lm-labs.com



中学生部門 入選  
基山町立基山中学校 2年  
藤尾 美鈴



中学生部門 入選  
神崎市立千代田中学校 2年  
平 彩華



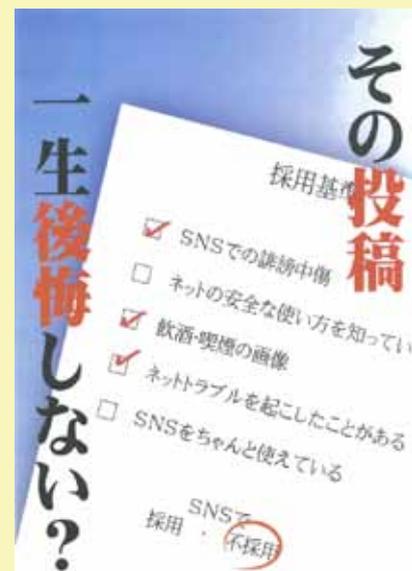
中学生部門 入選  
東明館中学校 2年  
三輪 玲大



中学生部門 入選  
佐賀市立城東中学校 1年  
池間 栞



中学生部門 入選  
鳥栖市立田代中学校 1年  
興梠 那南実



高校生部門 入選  
佐賀県立鳥栖商業高等学校 3年  
田中 萌

資格を取って  
パソコンスキルを証明!



各資格試験認定会場 パソコンスクールエヌビーコム

TEL 0952-34-4221 佐賀市神野東2-1-25 2F(佐賀駅北口徒歩2分)



試験オンラインお申込み受付中!

エヌビーコム

検索



高校生部門 入選  
佐賀県立鳥栖商業高等学校 3年  
波田 向日葵



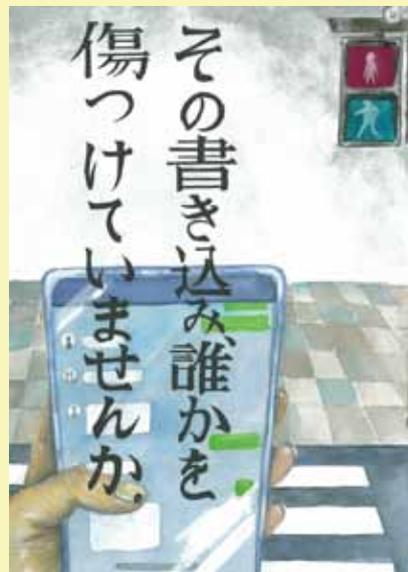
高校生部門 入選  
伊万里学園敬徳高等学校 3年  
澤岬 幸匠



高校生部門 入選  
佐賀女子短期大学付属  
佐賀女子高等学校 3年 倉持 綾愉子



高校生部門 入選  
佐賀県立鹿島高等学校 2年  
林田 月



高校生部門 入選  
佐賀女子短期大学付属  
佐賀女子高等学校 1年 杉野 李花



高校生部門 入選  
佐賀県立鹿島高等学校 1年  
中村 早希



高校生部門 入選  
佐賀県立鹿島高等学校 1年  
増田 凧



おとなと子どもで共同制作部門 入選  
新栄幼稚園 年長 宮崎 匠



# 動画部門



## 動画部門 最優秀賞

「スマホとの距離は適切に。」

佐賀市立大和中学校 パソコン部 入澤チーム (入澤 空良・野田 和輝・堀 智哉・栗丸 泰紀)



## 動画部門 優秀賞

「あなたのそばには...」

佐賀市立大和中学校 パソコン部 小西チーム  
(小西 知果・松尾 静汰・西村 柚凪)



## 動画部門 優秀賞

「軽はずみな言動」

佐賀市立城西中学校 6班  
(宮地 愛姫・末吉 彩乃・田中 綾乃)



## 動画部門 優秀賞

「ばれないと思っていたのに」

佐賀市立大和中学校 パソコン部 弘中チーム  
(弘中 綾音・千綿 一璃・江頭 賢勇・森木 涼太)



## 啓発動画感想文部門

ぼくは、前はスマホや、タブレットを見ていました。見はじめると、ずっと見たくなつて、やめられませんでした。やめるように注意されると、イライラして、何どもけんかをしました。家族はイヤなふんいきになりました。

この動画を見て、一人でいる時は使わないとせんげんしました。ぼくの家でも約束があります。一週間の計画を立てている事です。ゲームやタブレットをする曜日と時間を決めて、夜は八時までです。この家の決まり事をきちんと守っていいこうと思いました。この決まり事を守っていると、家族のふんいきもよくなつたし、よくねむれます。動画ばかり見ていると、だれともしゃべらないで一日が終つてしまいます。だから、家族と過ごす時間を大切にしたいです。約束を守るのがつらい時もあります。ちゃんと守っていいこうと思います。これから会話ができるように、動画を見る時間を、少なくしようと思いました。

### 啓発動画感想文部門 最優秀賞

佐賀市立諸富北小学校 3年 石橋 侑樹

SNSには、最初少ししかけいかいはしていませんでした。しかしそれは大きなまちがいでした。SNSのひがいはあつていないけれど、本当のSNSのこわさがわかりました。べつにいつか。と一度でも思つてしまうと、相手にだまされ、住所や個人じょうほうまですぐに知られるんな人に知られてしまいます。だれもがやっていることにいろんな落とし穴があることがわかりました。インターネットでは、おたがいに会うわけでもないの、うそをついているのか、それとも本当のこのなのかはわかりません。たとえ相手が有名な名前だとしても、成りすましかもしれません。どれだけけいかいしていたとしてもだまされます。たとえどれだけひつかかつたことのない人でも、SNSの注意をよびかけている人であつてもだまされます。この動画を見て、ぼくはSNSには注意して、さそいや会うことをさそわれても、全体にひつかからないうようにしていきたいです。

### 啓発動画感想文部門 優秀賞

小城市立晴田小学校 5年 柳井 智悠

わたしの家では、ルールはないけど、この動画を見てスマホやタブレットのルールを決めようと思いました。スマホやタブレットを使いすぎると体調をくずしたり学校を休んだり友達と遊ばなくなるって初めて知りました。今までは土曜日や日曜日にいっぱい使ってたけれど、この動画を見てこれからはスマホやタブレットの使いすぎはやめようと思いました。この動画にでてきた男の子みたいにお母さんのいうことや家族のルールを守らないと体調をくずしたり友達と遊ばなくなったり学校を休んだりするんだなあと思いました。妹もスマホやタブレットをよく長い時間使うので、妹にもスマホやタブレットを使いすぎると体調をくずしたりすることを教えてあげようと思いました。わたしが中学生ぐらいになってもスマホを買ってもらっても、この動画をわすれないようにして使いすぎはやめようと思いました。これからは妹やお兄ちゃんもスマホの使いすぎをやめてほしいです。

啓発動画感想文部門 優秀賞

佐賀市立諸富北小学校 4年 陣内 心結

わたしは、ゲームやスマホをさわりたいとおもうこともあります。でもぐあいが変わるくなるなら、わたしも、あんまりさわりません。ずつうや、きつくなるからです。ルールをやぶるわけにはいきませんから。スマートフォンであまりどうがをみない。ゲームをしすぎない。それは、しないときめました。

でもわたしは、テレビしかみていません。でもみすぎにはちゅういします。みのるさんのように、みすぎはやめます。たいちようが変わるくなったり、ぐあいがわるくなったりするのがだめだとおもいます。ぐあいがわるくなったら、いやだからです。これからやくそくをまもりまします。やくそくをまもる、びようきにならないように、どうがをみつづけません。わたしのかぞくがわたしを大すきだからです。どうがをみつけないようにきをつける。おうちのルールをやぶらないようにきをつけるがわたしのルールにしていきたいです。

啓発動画感想文部門 優秀賞

佐賀市立諸富北小学校 1年 西原 結心

「SNSを通じた出会いの危険性。」の学習をして、私は個室で相手と2人きりというようにきょうが一番だめだと思えます。2人きりで相手に何かされたりしたときに助けをよべないからです。また、私たちはまだ大人ではないため体が大人より小さいです。なのでかんとんにけとばされたりします。だからこそ体が小さい分、大人なほんだんが大切だと思えます。ほかの人に本名を聞かれることが大きな原因につながると思えます。たとえば名前を通じて住所をさぐられたり、個人じょうほうがひろがったり、いじめられたり。一つの原因での被害がたくさんふえます。なので私も「まだ先の話だ。」と思わずに、そんな場合があつてもたいおうできるように日々の生活から気をつけたいと思えました。あらためてインターネットって一つまちがえるとこわくなるんだなと思えました。

### 啓発動画感想文部門 入選

鳥栖市立鳥栖北小学校 5年 白水 月菜

私はこの動画をみて、SNS(ソーシャルネットワークサービス)は、知り合つてしまつた人を、信じきつてしまつてはいけないんだなあと思いました。私もSNSをやつていたので、そういうことがないように、気をつけながらやつていきたいなと思えました。これから、中学、高校と進学していく間で、ネットやSNSなどを、特に使つていくと思うので、もし知り合つてしまつたり、トラブルにあつたりしてしまつた時は、しっかり親か、警察に知らせる、または、教えて解決をしていくということが、大切なのではないかと思えました。なので、SNSのルールや、インターネットのルールを家族で決めて、トラブルにまきこまれないようにしたいなあと思いました。そして、SNS、インターネットはとても怖く、簡単に信用してはいけないということも、また改めて自分でも分かつたので、とてもよかつたです。

### 啓発動画感想文部門 入選

小城市立晴田小学校 6年 前田 もも

わたしは、「ネットいぞん」のビデオを見て、動画サイトには、きをつけたいと思えました。なぜかという、わたしも、一回みのるさんみたいなきぜつしたことがあります。なぜかという、わたしは、きのう、動画をずっと見ていたからです。でもわたしは、その動画をずっと見ていた意味がわかりました。それは、人気の動画サイトでした。わたしは、それを、友だちにすすめられてずっとみていました。わたしはずっとこう思つてました。「ゲームきなんかもつてないからそんなに目をわるくなつたりそんなにぐあいかわるくならないやろ」と思つてましたが、それはおちがいでした。その意味は、「ネットいぞん」を見て、わたしは、「ゲームきなんかもつてなくても動画をみただけでも体の中は、こまつているんだな」と思いました。わたしは、これから、動画を見る時間を決めたいと思えました。その時間は、20分にしたいと思えました。

### 啓発動画感想文部門 入選

小城市立晴田小学校 3年 森永 美紀

ぼくが今一番ほしい物は、スマートフォンです。スマホはゲームができた、動画が見れたり、音楽を聞けるとかたくさん機能がたり、とても便利な物です。大人がいつもスマホを使つているのを見ると、ぼくが自由に使えるスマホがほしくなりました。もし、ぼくが自分のスマホを手に入れたら、みのると同じようにずっとゲームをしたり動画を見てしまひそうです。

### 啓発動画感想文部門 入選

佐賀市立兵庫小学校 4年 鶴 航太郎

ぼくの家のリビングにはパソコンがありません。宿題が終わつて、大人と一緒にいる時は、そのパソコンを使つて動画を見たり、調べ物をしていいことになっていきます。

これがインターネットを使う時のぼくの家での約束です。

自分の部屋でパソコンを使うことはありませんが、母から動画を見る時間が長いと注意されます。

みのるのように病気になるたくない、見る時間を決め、守つていこうと思ひました。

## 最優秀学校賞

### 小城市立晴田小学校



わたしは、「スマホ、タブレットのつかいすぎ。」の動画を見て、びつくりしたことは、みのるさんがさいごにたおれたことと、タブレットを自ぶんのへやにもつていったことがびつくりしました。さいごにたおれるとは、おもつていませんでした。いえではわたしのスマホでゲームをやつています。でもやるまえに、おかあさんにじかんをきめてもらひます。でもほとんど日ようびにやつていて、でもいまは、やつていません。おねえさんは、アニメを見るためにスマホをもつていて、おにいさんはゲームをもつています。なにをやつていのかはしらないけど、とにかくまえから、「つかいすぎないでね。」といつています。こんなからわたしはみのるさんみたいに、スマートフォンをつかいすぎないようにしたいです。そのために自ぶんが見えないところ、もしくは、見ないところにおきまします。スマートフォンやタブレットには、きをつけまします。

### 啓発動画感想文部門 入選

佐賀市立諸富北小学校 1年 池田 紗菜

サーバー不要の  
クラウド型  
Webフィルタリング

# InterSafe Gateway Connection



いつでも、どこでも、どんな端末でも、どんな通信環境でも  
精度の高いWebフィルタリングで安全な学習が可能です

学校内も、学校外も安全な学習環境



マルチデバイス制御



Windows



iOS



Android



Chromebook

多様なWebフィルタリング機能で柔軟にアクセス制御

業界最大級!  
Webフィルタリング

# 148

カテゴリ



HTTPSデコード

暗号化されたHTTPS通信も  
URL単位でフィルタリング



書込み規制

キーワード単位で  
ブロックすることも可能



グループ管理

最大10階層で管理可能



スケジュール

フィルタリングルールの  
適用時間帯を設定



警告/PW解除

アクセス時警告画面を表示  
PW入力で一時的許可も可能



ログダウンロード

Web利用傾向の分析や  
監査証跡に活用

授業中・放課後でフィルタリングルールを変更可

アルプス システム インテグレーション株式会社 セキュリティ事業部

本社 〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7 TEL:03-5499-8045 Email: ssg@alsi.co.jp

おトクな専用パックをご用意

ISGC スクールパック



※ALSI (アルシー) はアルプス システム インテグレーション株式会社のコミュニケーションブランドです。 ※InterSafeはアルプス システム インテグレーション株式会社の登録商標です。

# 誰もが安心して利用できる ネット環境の実現を目指して…

## ご協力いただいた企業及び団体様

NTT西日本 佐賀支店	株式会社学映システム
アルプスシステムインテグレーション株式会社	NBCラジオ佐賀
LINE株式会社	有限会社佐賀情報ビジネス
株式会社佐賀IDC	株式会社ローカルメディアラボ
佐賀県警察本部	唐津土建工業株式会社
デジタルアーツ株式会社	丸秀醤油株式会社
ニシム電子工業株式会社 佐賀支店	三福海苔株式会社
佐賀県ケーブルテレビ協議会	有限会社井上製麺
株式会社佐賀新聞社	有限会社栗林米穀
株式会社サガテレビ	農業生産法人株式会社吉野ヶ里あいちゃん農園
九州電力株式会社 佐賀支社	株式会社アングル
佐賀大学教育学部	asagao
特定非営利活動法人 佐賀県放課後児童クラブ連絡会	株式会社エヌビーコム
	特定非営利活動法人 ITサポートさが

(順不同)

ネットの安全・安心けいはつコンクール <https://www.it-saga.jp/> 詳細はコンクールWebページをご覧ください。  
ネットの安全・安心けいはつコンクール  検索 



ネットの安全・安心けいはつコンクール実行委員会

【お問い合わせ・連絡先】

ネットの安全・安心けいはつコンクール事務局

〒840-0804 佐賀市神野東二丁目 1-25 ITサポートさが内

TEL：0952-36-5900 E-mail：info@it-saga.net